

家具をチェックしてみよう!

病院編



患者様や職員が毎日使っている家具。長年使って劣化しているのにそのまま、ということはありませんか? 病院施設で点検すべきポイントを知って、患者様や職員をケガから守りましょう。

ナースングカート



ガスシリンダー昇降不良

こんなところもチェックしよう!
 ビスのゆるみ
 キャスターのガタツキ

ロビーチェア



ボルトのゆるみによるガタツキ

こんなところもチェックしよう!
 アジャスターのゆるみ
 背座の張り地破れ

点滴スタンド



キャスターに埃や髪の毛が絡まる

こんなところもチェックしよう!
 ハンドル・上部支柱グリップのゆるみ

折りたたみイス



リベット破損による座面はずれ

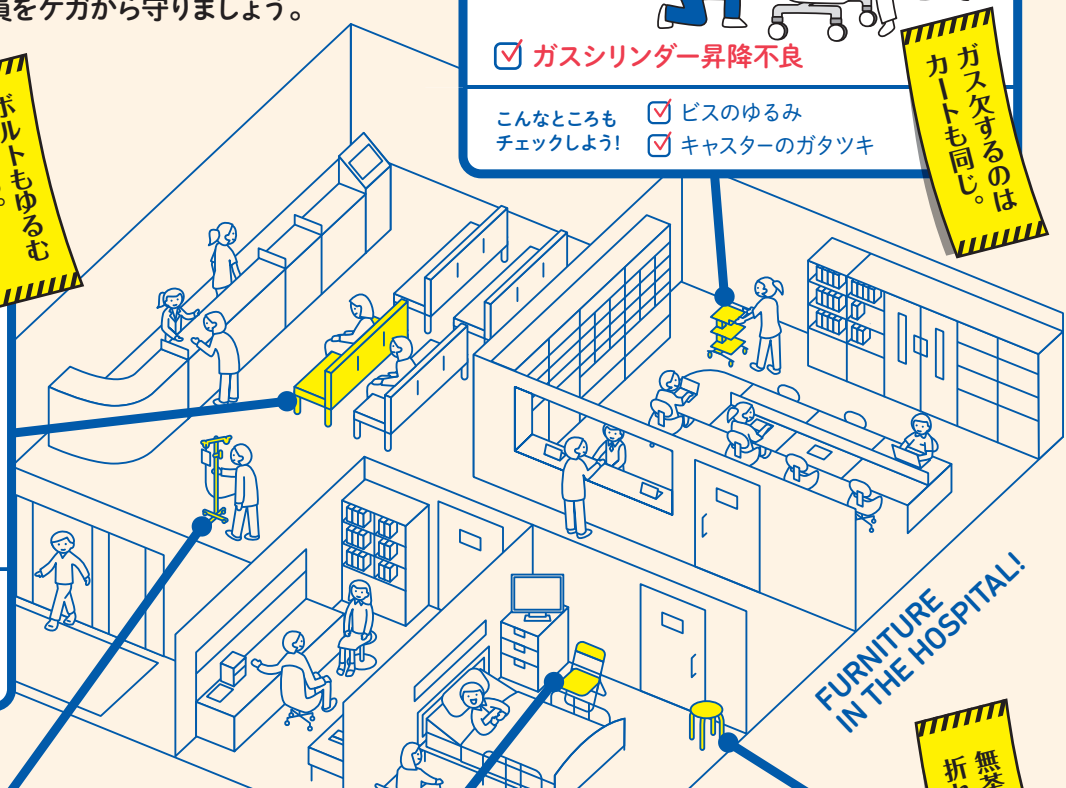
こんなところもチェックしよう!
 座面の傾き
 座面のガタツキ
 部品のはずれ

木製スタックイス



1本の脚に荷重をかけ脚が折れる

こんなところもチェックしよう!
 木部のヒビ割れ
 ビスのゆるみ

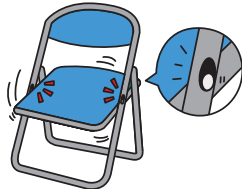


事例で学ぶ 点検と注意のポイント

オフィスなどと異なり、患者様や職員が24時間毎日家具を使用することもある病院内では、通常より早く劣化が進み、異常のサインを見落とすことで大きなケガにつながる可能性があります。最近の事例をもとに、家具を安全に使用するためのポイントをご紹介します。

CASE 1 折りたたみイス 部品の破損に気づかず座って転倒した

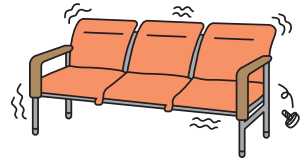
必要に応じて不定期に使用し、点検をしていなかったため、脚部と座面を連結する部品が外れているのに気づけませんでした。



イスを使用する際、連結部分の部品などが壊れていないかどうか確認しましょう。

CASE 2 ロビーチェア ボルトのゆるみでイスが傾き転倒した

脚部と座面を連結しているボルトがゆるんでいたために座面が大きく傾き、座った際にバランスを崩してしまいました。



ガタツキを感じたら、そのまま座れそうでも使わないようにしましょう。

CASE 3 患者用回転イス イスの座面が外れて尻もちをついた

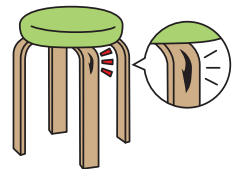
患者様が浅く腰掛けることが多いため、負荷が部分的に強くかかり、座面が壊れやすい状態になっていました。



毎日たくさんの患者様が座るイスこそ、毎日チェックをしましょう。

CASE 4 木製スタックイス 座ったのと同時にイスの脚が折れて転倒した

かるいヒビ割れに見えたので使用を続けてしまい、突然木部が裂け、脚が折れてしまいました。



劣化した木部は急に破損することがあるため、少しのヒビでも使用はやめましょう。

CASE 5 木製折りたたみイス 自然にボルトがゆるみ、座面が外れた

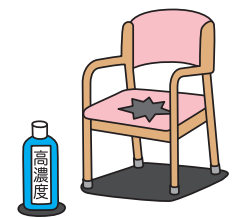
長期的な使用や、短期間でも1日の中で長時間使用することで、木部に「木痩せ」が起き、ボルトを締めるための穴が広がったため、ゆるんでいました。



木製品は長期使用に伴い「木痩せ」するため、定期的に点検しましょう。

CASE 6 張り地 濃縮タイプの消毒液で拭いた張り地が破れた

次亜塩素酸系消毒液の薄め方をよく確認していなかったため、必要以上の高濃度でくり返し使用してしまい、張り地の変色や破れが発生しました。



病院に不可欠な消毒薬は、厚生労働省のガイドラインに基づいて使いましょう。

家具を日頃から定期的に点検し、事故を未然に防ぐことができるよう心がけましょう。壊れていたり、部品の不備がある家具は使用を止め、修理や買い替えをご検討ください。

修理や買い替えをご検討の方は、お買い求めの販売店、またはコクヨお客様相談室まで

お客様相談室

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

0120-201-594

受付時間: 9時~17時
(土日祝日・年末年始・
夏期休業中を除く)

<http://www.kokuyo.co.jp/>